

東北大学金属材料研究所 計算材料学センター 共同研究報告書・成果登録作成要領

報告書作成・成果登録にあたっては、以下の事項に留意し、**平成29年4月7日(金)**までに web 上で登録(提出)してください。web での操作は本所「共同利用 web システム」(以下 web システム)のログイン HOME (<http://imr-kyodo.imr.tohoku.ac.jp/>)掲載のマニュアルをご確認ください。

【成果登録】は共同利用の成果をまとめ、報告するうえで大変重要なデータとなりますので、必ず登録頂くようお願い致します。

1. 報告書について

- 様式・記入方法: 別紙「研究内容概要」の記載例の指示に従って作成してください。
- 提出方法等:
 - 1) 提出(登録)方法
web システムのログイン HOME から、申請代表者の ID・パスワードでログインし、「研究内容概要」を該当箇所にアップロードしてください。
 - ・ファイルはPDFに変換してください。
 - ・ファイル名は「(課題番号).pdf」としてください。例)ファイル名:(16S0999).pdf
 - ・印刷時はモノクロ印刷のため、色で区別したシンボルは使用できません。
 - 2) 作成枚数
A4サイズ 1~5 枚以内

2. 成果登録について

- 以下の項目について、web システムから登録してください。
 - 1) 雑誌論文 2) 国際会議・国内学会・シンポジウム等における発表 3) 研究成果による産業財産権の出願・取得状況 4) 新聞発表等 5) 学位取得 6) 引用数の多い論文
- 提出方法等:
 - 1) 提出(登録)方法
web システムのログイン HOME から、申請代表者の ID・パスワードでログインし、該当課題の「報告書・成果報告」から登録してください。
 - 2) 作成件数
件数に制限はありません。該当するものは全て作成してください。なお、成果登録は随時行うことができます。本所における論文リストを作成するうえで大変重要なデータとなりますので、ご協力頂きますようお願い致します。

3. 論文発表等について

- 提出方法等: 以下の1)~2)を、Web システムから該当箇所にアップロードしてください(※研究成果の登録に係るアップロード機能は、平成29年3月21日以降にご利用頂ける予定です)。
 - 1) 直接本所のスーパーコンピューティングシステムを利用して得られた、平成28年4月~平成29年3月までの研究成果・論文・雑誌・書籍(該当部分のみ)等のデータファイル(主として本システム以外で研究成果をまとめたものでも、本所のシステムを使用した旨の明記があるものも含みます)を共同利用webシステムの「研究成果の登録」画面よりアップロードしてください。

2) 関連のある学会発表予稿・新聞記事など、ページ No.・日付・会議名等の詳細がわかるように、概要集等の該当部分を「研究成果の登録」画面よりアップロードしてください。

4. その他

スーパーコンピューティングシステム利用成果報告書の表紙および巻頭のカラーページ用に掲載可能な図表等がある場合には、説明文とともに直接問合せ先の 計算材料学センター 編集担当 ccms-rep@imr.tohoku.ac.jp まで、メール添付にてご提供ください。

5. 問合せ先

○ 本件に関してご不明な点等ございましたら、以下までお問合せください。

【報告書の作成について】 〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1番1号

東北大学金属材料研究所 計算材料学センター 編集担当 宛

電話:022-215-2163 Fax:022-215-2164 E-mail:ccms-rep@imr.tohoku.ac.jp

【web システムの操作について】

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1番1号

東北大学金属材料研究所 総務課研究協力係 宛

電話:022-215-2183 Fax:022-215-2184 E-mail:imrkyodo@imr.tohoku.ac.jp

6. 期日 **平成 29 年 4 月 7 日(金)**

※本所スーパーコンピューティングシステムをご利用の方は、本スーパーコンピューティングシステムを利用した旨、論文等に明記下さるようお願いいたします。

本スーパーコンピューティングシステムを使用した論文の謝辞記入例(英文)

ACKNOWLEDGMENT

“The authors would like to express their sincere thanks to the crew of Center for Computational Materials Science of the Institute for Materials Research, Tohoku University for their continuous support of the SR16000 supercomputing facilities.”

“The authors gratefully acknowledge SR16000 supercomputing resources from the Center for Computational Materials Science of the Institute for Materials Research, Tohoku University.”

